


 第4号
 平成21年5月10日発行

 特定非営利活動法人
 キャリアサポートネットワーク
 千葉県船橋市緑台 1-3-1-304
 TEL: 047-440-1790
 http://www.cs-network.jp

〈特定非営利活動法人キャリアサポートネットワーク 5周年記念シンポジウムのご案内〉

『学校とNPOの連携実践大集合2009～子どもたちはどう変わったか～』

キャリアサポートネットワークが設立されて5年を経過しました。これまでの活動にご協力いただいた関係者の皆様に感謝いたします。これまでの足跡を振り返りつつ、今後の大きなテーマである“学校との連携”についてイベントを企画しました。この分野での先達団体を集っていただき、「子どもたちはどう変わったか」をテーマに成果発表、意見交換をしたいと考えています。多くの皆様にご参加いただき、今後の活動やネットワーク作りの場としていただきたいと思います。

特定非営利活動法人キャリアサポートネットワーク
 代表理事 大島啓孝

〈シンポジウムのご案内〉

- 日時：2009年11月7日（土）10:00～16:30
- 会場：船橋駅前FACEビル6F
 きららホール（千葉県船橋市本町1-3-1）
- 参加申込み 2009年9月受付開始予定
- プログラム（予定）

■ 第Ⅰ部 団体紹介

参加団体から実施したプログラムや活動内容とその効果や子どもたちへの影響について紹介してもらおう。

■ 第Ⅱ部 パネルディスカッション

「子どもたちはどう変わったか」をテーマに、各団体関係者×教師×生徒による意見交換と討議

■ 第Ⅲ部 交流と体験

会場内に各団体のブースを設け、それぞれの活動紹介やプログラムのミニ体験、ビデオによる紹介などによる交流の場。

【市民】活躍の場、機会を知ってもらう

【教職員・学校関係者】生徒への実践事例や団体、その効果を知ってもらう

【招待団体】他団体の活動と効果を知ってもらう協力・連携しあえるネットワーク作りをしてもらう

参加NPO団体は、千葉県および関東周辺で「子供達の教育活動（学校教育活動・学校外教育活動）支援を行っているNPO法人企業教育研究会（ACE）など、“学校との連携”に関する活動を行っているNPO団体を予定しています。参加団体や企画詳細がわかり次第ホームページなどで随時お知らせしていきます。

【2008年度 CSN 活動報告】

- ◆昨年度に続き、千葉県立高等学校キャリア教育調査研究事業（東金高等学校、流山北高等学校、柏陵高等学校、松戸馬橋高等学校）の一環で、キャリアカウンセラー派遣。
- ◆千葉県立松戸馬橋高等学校で、職業人インタビュー講演を実施。（5月、6月）
- ◆千葉大学玄鼻キャンパス学生相談室にてキャリア相談事業。3年生対象に「就職進路ガイダンス授業」を実施。（5月）
- ◆千葉県立浦安南高等学校進路個別相談実施。（5月）
- ◆千葉県立東金高等学校（定時制）「プロフェッショナルを目指す」特別授業。（5月）
- ◆我孫子市立我孫子第二小学校にて、キャリア教育授業。
- ◆千葉県立多古高等学校「面接練習」ミニセミナー。（6月）
- ◆都立永山高等学校「模擬面接練習」。（7月）
- ◆都立杉並高等学校定時制「働くこと」特別授業。（9月）
- ◆千葉県教育庁主催「キャリア教育中高生フォーラム」パネリストとして参加。（10月）
- ◆千葉県立岬高等学校「プロフェッショナルへの道」講演授業。（10月）
- ◆千葉県立千葉工業高等学校「インターンシップ準備セミナー」授業。（11月）
- ◆ヤング・ジョブ・サポート・いちかわ「保護者セミナー」講演。（11月）
- ◆東京都立府中西高等学校「プロフェッショナルへの道」講演。（11月）
- ◆川崎市男女参画共同センター（すくらむ21）『女性のための就労応援フェア 再就職のためのレッスン「履歴書の書き方」「面接レッスン」を担当。（12月）
- ◆八街市内中学校4校（八街中学校、八街中央中学校、八街北中学校、八街南中学校）にて『プロフェッショナルへの道』講演。（2月）
- ◆「CSNキャリア研修プログラム2008」開催。（10月）

千葉県高等学校キャリア教育調査研究事業の取り組みから

千葉県高等学校『キャリア教育調査研究事業』も実施2年目を迎え、当キャリアサポートネットワークのメンバーの取り組みもそれぞれの学校の状況や環境に応じた独自の取り組みが始めました。その中でも特に注目すべき取り組みについてスポットをあててみました。 (CSNだより編集部)

■職業体験事前授業

千葉県立柏陵高等学校の実施から

県立柏陵高等学校では毎年、2年生が近辺の企業へ職場体験として訪問していますが、昨年はその準備のための事前授業を、当キャリアサポートネットワークのメンバーが各クラス1名ずつ担当し、3週間にわたり、「職場体験の臨む心構え」や「ビジネスマナー」などを生徒たちが学ぶという試みを行いました。

実施時期 2008年11月、12月

7クラス×3時限

実施内容

1回目	学校と仕事の違いを認識し、職業体験に際しての取り組み意識を醸成する。 ◆仕事って何？会社ってどんなところ？ ◆なぜマナーは必要なのか ◆第一印象の重要性
2回目	基本的なビジネスマナーを学習し適切な自己紹介ができるレベルを目指す。 ◆身だしなみ ◆挨拶の仕方 ◆言葉遣い ◆電話の受け方、かけ方 ◆メモの取り方
3回目	職場体験後に気持ちのこもった文書(礼状)を書けるレベルを目指す。 ◆手紙文の書き方(形式、内奥等) ◆電子メールの書き方

実施しての感想

★担当した山川ひろみ (CSN正会員)

「ほんの数日とはいえ、職場体験は未知との遭遇であり、生徒にとっては不安で、戸惑いも多いと思います。マナーなどの知識だけでなく、なぜそれが必要なのか、なぜそうするのかということも理解してもらうことに努め、いろいろな職場やいろいろな場面で応用が利くようなスキルが身につくことを目指しました。職場体験後に何名かの生徒から『楽しかった』と言ってもらったことは嬉しかった。来年以降も学校で引き続きこのプログラムを活かして欲しいと思います」

★担当教諭「例年、教師がこの授業を担当してきてそれなりに効果もあったが、今年は実際の社会人経験がある方が指導してくださったおかげで、生徒がより真剣に準備に取り組んだ。職場体験でも企業からも高い評価をいただき、その後の高校生活にもさまざまなことに関心を持つなどよい影響がでているようだ」

■職業人インタビュー

千葉県立松戸馬橋高校の実施から

県立松戸馬橋高校では2年生を対象に、CSNのメンバーがこれまでの社会人経験をインタビュー形式で語り、生徒への質問・生徒からの質問を受けるという双方向コミュニケーションで実施しました。将来、社会に出て働く時に組織とはどのようなものか生徒にはイメージが掴めないために、社会人経験者から実際に聞くことを主眼としました。例えば、絵を描くことが得意だからイラストレーターに、ではなく、会社の中の人事部、経理部、総務部、など多くの部門で絵を生かす仕事はいくらでもあることを事例で示しながら説明するものです。また、社会人に何故そのような仕事に就いたのか学生時代の趣味、興味、得意科目などを聞きながら進路を決める際の参考になるよう話を進めました。



先生方へも会社組織、部門別の仕事内容については進路相談などの参考にさせていただけるよう考慮しました。

ある先生も「私たちは一般企業ではどのような組織がありそこで何をしているか、何ができるかについては未知な部分が多くありました。今日の職業人インタビューを聴き「得意を生かす」にも様々な働き場所があることに気が付きました。この経験を今後の進路指導の参考にしていきます」と語っていました。

■求人ナビゲーター

千葉県立流山北高等学校の実施から

毎年7月に高校生の求人が公開され、各高等学校ではパネルに掲示された求人を生徒たちが熱心に見入る光景が繰り広げられますが、昨年、県立流山北高等学校では求人の掲示されたパネルの前で、「アパレル志望なの。勤務地の希望は?」「この会社は寮があるね」など求人票の見方を解説したり、求人についての相談を受けるキャリアカウンセラーの姿が見られました。これは同校に定期的に相談員としてきているキャリアカウンセラーがいわば求人ナビゲーターとして、高校生にとって見慣れない求人票をわかりやすく解説したり、志望先が決まらない生徒に求人票を使って考えるヒントを与えたり、また掲示されている求人と生徒の希望をマッチングさせたりして大事な求人を見落としたりしないようにと進路指導部と連携して行った試みです。

生徒からは「アパレルが服飾という言葉だったり、求人票はわかりにくいけど、解説してもらってよかった」「勤務地が遠いけど寮があることでちょっと安心した」「正直、求人票をただ眺めていてもよくわからないけど、一緒にみてくれることで就職もがんばろうという気持ちになった」など好評のようでした。

同校進路指導主事の藤原教諭は、「キャリアカウンセラーの方からの提案で試しに行ったが、非常に効果的だった。えてして生徒たちは思い込みやひと

りよがりな解釈でせつかくのよい求人を見逃したり、どんな人材を求めているか理解不足のまま面接を迎えることがありがちだったが、就職の準備にもつながり、就職意欲の向上になったと思う。今年は事前の告知をもっと行うなどこの協力は力を入れていきたい」とのことでした。職場見学やインターンシップを体験したとしても、まだまだ企業や職場の知識や情報を知らない生徒にとって、求人票を読み取ることは難解なことでもあり、キャリアカウンセラーが仲介役となって支援することは効果的な就職活動の一つの例といえるでしょう。

■放課後のミニセミナー

千葉県立東金高等学校の実施から

県立東金高等学校では、キャリアカウンセラーによるミニセミナー(全4回)を行いました。3年生が授業を終了し、教室に余裕がでる2月下旬から3月にかけて、4週間にわたり、ミニセミナーの後にキャリア個別相談の時間を設けることにより、生徒に具体的な相談内容をイメージしてもらい、目先の勉強や受験ばかりでなく将来の人生設計、キャリア設計を考えるきっかけとして、よい振り返る場になったと思います。将来を考えることで、進学・就職に関わらずなぜそれを選択するのか、目標設定が明確になり、勉強にもより身が入ったかと思われま。実施時期 2008年2月20日、3月4日、12日、19日(計4回)

1回目	『職業と適性の関係を知る～自分の個性を理解し伸ばす』
2回目	『社会人として何を身につける～「社会人基礎力」』
3回目	『上手な人間関係のために～コミュニケーション・ゲーム①』
4回目	『上手な人間関係のために～コミュニケーション・ゲーム②』

*セミナー後、進路個別相談会を実施。

Message from CSN Member

第4回 水間眞弓

● CSNの活動について

キャリアコンサルタントの資格を活用できる場が欲しいと思っていたところ、CSNのメンバーの方に声をかけていただき入会しました。「千葉県民のための千葉のためのキャリア支援」は、まさに私の理想とするところです。これまでの企業研修の経験を生かして、できることからお役に立ちたいと思っています。

● 活動に参加してみても

主として高等学校のキャリア教育研究事業に関わっています。若者の早期離職、フリーター、ニートなどの課題を生み出している昨今、じっくりと「自分の興味・関心は何か」「将来何をしたいのか」「どんな生き方をしたいのか」を一緒に考える機会をもうけることは重要なことです。まだまだ認知度は低く力不足を感じていますが、学校におけるキャリアカウンセリングの役割の大きさを実感しています。



● これからの活動について

混沌とした社会経済の中で、キャリアサポートネットワークが担う役割は多岐に渡ると思いますが、私は女性の立場から、女性のキャリア支援に期待しています。女性がキャリアを形成する場合、結婚、出産、育児など、乗り越えなければならない課題が存在します。その時々のライフステージで、よりよい選択をしながら女性が社会で継続して働けるようにサポートしていきたいと思います。

《CSN イチオン》

■『就活のバカヤロー 企業・大学・学生が演じる茶番劇』石渡嶺司/大沢仁 著・光文社新書

(2008年11月刊)

タイトルの過激さにちょっとひいたが、イマドキの若者が陥りやすい就活の落とし穴、企業の人事担当者の現状などをよく取材し冷静に紐解き、就活をめぐる社



会的な問題・課題を並べ、その上で学生にいかにかに自分らしい就職活動をすべきなのか、著者の温かい思いが込められている。コミック「ドラゴン桜」の三田紀房氏も連載中の「エンゼルバンク」の中でたびたび引用している。目を吊り上げ、第一志望を叫ぶ就活中の学生にとって、頭を冷やし、マニュアルや教科書では知ることのできない自分なりの就活を見つめるには格好のテキストではないだろうか。(記 大島)

■『この世でいちばん大事な「カネ」の話』西原理恵子 著・理論社 (2009年2月刊)

なんとも衝撃的な題名の本である。西原理恵子のこれまでの人生において、さまざまな出会いや経験から何を学んできたかを、わかりやすい言葉でストレートに書いている。



「生きていくなら、お金を稼ぎましょう。どんなにつらいときでも、働いていればそのうちどうにか出口が見えるものなんだよ。働くことが希望になる。」自分から外に出て、手足を動かして働くことで希望が見えてくると、西原氏は若者に伝えようとしているのだと感じた。(記 早川)

キャリアサポートネットワークの活動にご協力を

CSNでは、ここに掲載した活動以外にも、千葉県内を中心に活動を行い、また千葉県とNPOの協働事業へ提案するなど積極的に活動を広げていきます。活動に直接お手伝いいただける方だけでなく、事務処理など皆様のできることからご協力いただける方を募集しています。この『CSNだより』をお読みになって、興味を持たれた方、ぜひご一報ください。

■事務局 千葉県船橋市緑台1-3-1-304 TEL 047-440-1790/FAX 020-4662-2067
 MAIL info@cs-network.jp ホームページ <http://www.cs-network.jp>

